

【科目名】地域リハビリテーション論		【担当教員】北上守俊、田中善信 (メールアドレス)
【授業区分】専門分野(地域作業療法学)	【授業コード】4-24-0965-0-1	【北上】kitakami@nur05.onmicrosoft.com 【田中】y.tanaka@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー)
【開講時期】2年次 後期	【選択必修】必修	【北上】木曜日 13:00～18:00 【田中】水曜日 13:00～18:00
【単位数】1単位	【コマ数】15コマ	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) ・特になし (受講のルールに関わる情報・予備知識) ・柔軟な思考で、ひとの生活をイメージしていくこと。 ・現存する種々の職業の分析を通して、どのような改善・改良により障害者とその職業に適応できるかという視点に関心をもってもらいたい。 ・レポート等の提出期限を厳守すること。		
【講義概要】 (目的) ・障害者が地域社会の中で共生と共同を以って積極的な社会参加を通して、生きがいを感じながら自らの人生を主体的に生きることを支援する。そのための保健・医療・福祉の動向を踏まえた、障害者の QOL に視点を当てた生活を重視した包括的援助体系について、多面的に学修することを目的とする。 ・各種障害を持った人の職業復帰のための評価と、実際の職業訓練を学修する。また職業復帰に関する医療・福祉制度及び施設の知識を学修することを目的とする。 (方法) ・グループワークを交えた講義を中心に行う。 ・実際の職業復帰のための評価を体験し、作業療法の訓練との相関について学ぶ。		
【一般教育目標(GIO)】 ・地域リハビリテーションの位置づけ、法制度について理解することができる。 ・地域生活支援と作業療法の関わりについて理解することができる。 ・作業療法における職業リハビリテーションの役割と意義について理解し、作業療法士に必要な職業リハビリテーションに関する基礎知識と関連する。 【行動目標(SBO)】 ・疾患やライフステージに応じた生活や生活障害を理解し、作業療法を提供できる。 ・職業リハビリテーションに用いられる評価法を上げ、そのいくつかについて実施することができる。 ・職業リハビリテーションに関連する法的制度を説明することができる。		
【教科書・リザーブドブック】 ・小川恵子「標準作業療法学専門分野 地域作業療法学 第2版」医学書院 2013年 3,800円(税別)		
【参考書】 ・松為信雄, 菊池恵美子 編著「職業リハビリテーション入門-キャリア発達と就労支援の体系-第2版」協同医書 2007年 4,000円(税別)		

平成 26～28 年度入学者用

【評価に関わる情報】									
(評価の基準・方法)									
<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。 ・期末試験および授業参加態度、レポート等より総合的に評価する。 									
【達成度評価】		試験	小テ スト	レポ ート	成 果 発 表	実 技	ポ ー ト フ ォ リ オ	そ の 他	合 計
総合評価割合		50		25				25	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	25		10				5	
	思考・推論・創造の力	25		10				5	
	コラボレーションとリーダーシップ							5	
	発表力							5	
	学修に取り組む姿勢			5				5	
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授 業 の 運 営 方 法			学 修 課 題 (予 習 ・ 復 習)			時 間 (分)	
1	・コースオリエンテーション ・地域リハビリテーション・地域作業療法とは	講義 (田中)			教科書 (p8～53) を読んでおくこと。			30 分	
2	・学生が考える高齢者・障害児 (者) の暮らしと取り巻く問題・支援 【KJ 法を用いたグループワーク①】	グループワーク (田中)			【課題】 「障害者総合支援法」「介護保険法」など、社会保障などに関連する法律についての資料を入手し、熟読しておくこと。			30 分	
3	・学生が考える高齢者・障害児 (者) の暮らしと取り巻く問題・支援 【KJ 法を用いたグループワーク②】	グループワーク (田中)			【課題】 発表用スライドを作成し、発表前日 18:00 までに、専用 PC ヘッダーを入れる。			30 分	
4	・学生が考える高齢者・障害児 (者) の暮らしと取り巻く問題・支援 【発表】	発表 (田中)			【課題】 発表用スライドを作成し、発表前日 18:00 までに、専用 PC ヘッダーを入れる。			30 分	
5	・地域作業療法を支える制度・法律① (障害者総合支援法と作業療法士のかかわり)	講義 (田中)			教科書 (p58 - 66) を読んでおくこと。			30 分	
6	・地域作業療法を支える制度・法律② (介護保険制度と作業療法士のかかわり、地域包括ケアシステムについて)	講義 (田中)			教科書 (p67 - 82) を読んでおくこと。			30 分	
7	・地域作業療法における作業の捉え方と実践	講義・発表 (田中)			教科書 (p118 - 153) を読んでおく。			30 分	
8	・地域作業療法の実践 (発表)	講義 (田中)			【課題】施設・機関における作業療法の実践について書かれた文献を一人 1 部読み、課題シートを記入する。発表前日 18:00 までに専用 PC に入れておくこと。			30 分	
9	・職業リハビリテーションと作業療法の歴史と就労支援の役割について学ぶ。 ・「働くこと」の意味を考える。	講義・グループワーク (北上)			予習：次回単元の教科書を読んでおく。			30 分	
10	・職業準備性について学ぶー公共交通機関の	講義・グループ			予習：次回単元の教科書を			30 分	

平成 26～28 年度入学者用

	利用と自動車運転再開を中心にー	ワーク（北上）	読んでおく。	
1 1	・職業評価（GATB、ワークサンプル法等）について学ぶ①。	講義・演習（北上）	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30 分
1 2	・職業評価（ERCD、職業興味検査等）について学ぶ②。	講義・演習（北上）	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30 分
1 3	・様々な働き方（一般就労、福祉的就労等）について学ぶ。	講義（北上）	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30 分
1 4	・社会資源（地域障害者職業センター、職業訓練校等）について学ぶ。	講義（北上）	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30 分
1 5	・職業リハビリテーションまとめ	講義（北上）	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30 分

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。